

# 平成30年度一般会計決算を認定

## 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を 求める意見書を全会一致で可決

### 平成30年度 一般会計決算を認定

平成30年度一般会計決算の  
主な内容は次のとおりとなり  
ます。

#### ○主な内容

歳入決算額は732億23  
35万円で、前年度比約10億  
1473万円の増。歳出決算  
額は704億1451万円で、  
前年度比約11億7599万円  
の増となり、差引残額約28億  
884万円は令和元年度に繰  
り越されました。

#### ○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は2  
84億2873万円（一般会  
計の38・8％）で、前年度比  
約820万円の減となってい  
ます。これは、市民税法人分  
や軽自動車税は増加したが市  
民税個人分が減少したことと  
評価替えて固定資産税が減少  
したことによるものです。

次に、国からの補助金など

である国庫支出金は130億  
5669万円（一般会計の  
17・8％）で、前年度比約3  
億614万円の減となってい  
ます。これは、経済対策臨時  
福祉給付金給付事業費補助金  
などが減少したことによるも  
のです。

次に、国から地方財政の均  
衡を図るために交付される地  
方交付税は83億8738万円  
（一般会計の11・5％）で、  
前年度比約7109万円の増  
となっております。これは、高  
齢者保健福祉費が増加したこ  
とによるものです。

次に、事業資金調達のため  
に借り入れた市債は60億29  
75万円（一般会計の8・  
2％）で、前年度比約5億6  
03万円の増となっております。  
これは、ごみ処理施設を整備  
するためや、市の財源不足を  
補うために借り入れた市債の  
増加などによるものです。

#### ○歳出の主なもの

歳出に占める割合の大きい  
ものでは、社会福祉などに要  
する民生費は312億184  
1万円（一般会計の44・3％）  
で、前年度比約4億1671  
万円の減となっております。

次に、衛生費は85億714  
1万円（一般会計の12・2％）  
で、前年度比約1億9827  
万円の増となっております。  
そのほか、総務費は71億3  
417万円（一般会計の10・  
1％）で、前年度比約4億2  
598万円の減。公債費は68  
億882万円（一般会計の9・  
8％）で、前年度比約2  
億673万円の増。土木費は  
67億2074万円（一般会計  
の9・5％）で、前年度比約  
5億1427万円の増。教育  
費は60億8050万円（一般  
会計の8・6％）で、前年度  
比約7億7307万円の増と  
なっています。

【賛成多数で認定】

## 討論

施策の前進、市民負担の軽減、  
市民サービスの向上を  
求め反対（日本共産党）

市の財政は、実質的な借金  
は少なく、貯金は多くありま  
す。他市と比べて遅れている  
施策の前進を図り、市民負担  
を軽減し、市民サービスの向  
上を図ることのできる財政状  
態となっております。

今、強く求められているの  
は第2次春日部市総合振興計  
画にもあるように、市民の命  
と暮らしを守り、福祉の増進、  
地域経済の活性化と子育て支  
援でまちの活気を取り戻し、  
誰からも選ばれるまちを築く  
ことです。

春日部市の最大の課題は、  
人口減少に歯止めをかけるこ  
とです。この対策が喫緊の大  
きな課題であります。人口減  
少に歯止めをかけ、人口増に  
転じていくことは、自主財源  
を確保し、活気あるまちにし  
ていく上で極めて重要です。

今後はさらに、誰もが住ん  
でみたい、住み続けたいと思  
う市の魅力を高めることに力  
を入れることが何よりも重要  
です。特に安全安心なまち、

学び楽しむことができる教  
育・文化・スポーツの豊かな  
まちにしていくことが人口減  
に歯止めをかけるポイントに  
なります。

そのためには、その中心と  
なる正規職員を増やすことが  
どうしても必要です。都市基  
盤の再整備を促進し、文化・  
教育水準を高めるには、必要  
な職員をしっかりと増やして、  
市民のために力を発揮できる  
職員を育成していくことが欠  
かせません。

子育て支援の充実が強く求  
められています。待機児童セ  
口と児童発達支援センター拡  
充のために、引き続き、質の  
高い保育を維持し、「子育て  
するなら春日部で」の状況を  
つくり上げることは重要です。

こども医療費18歳までの助  
成は、入院だけでなく通院に  
も実施すべきです。  
安心して生活できるよう河  
川改修、貯留施設の建設など  
治水対策事業のさらなる強化  
が重要です。

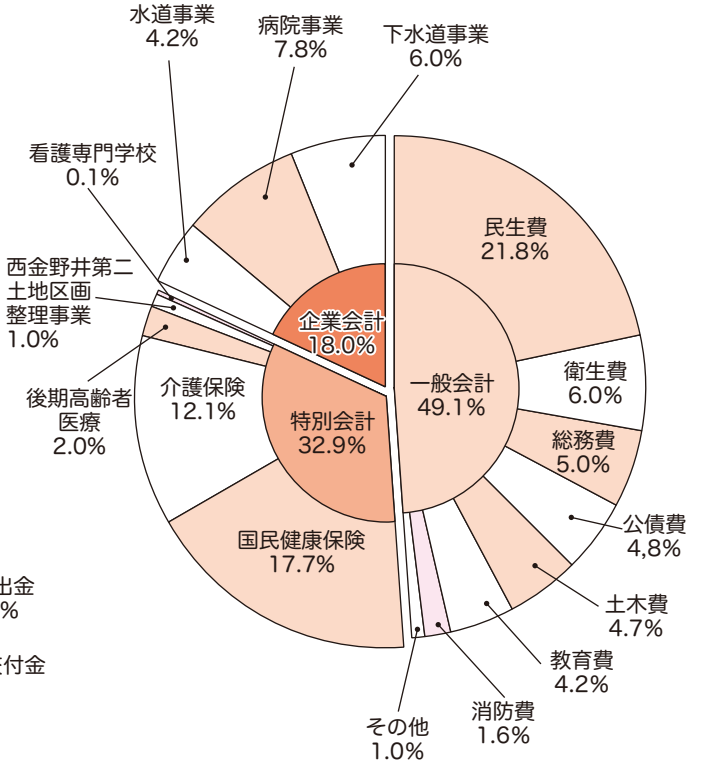
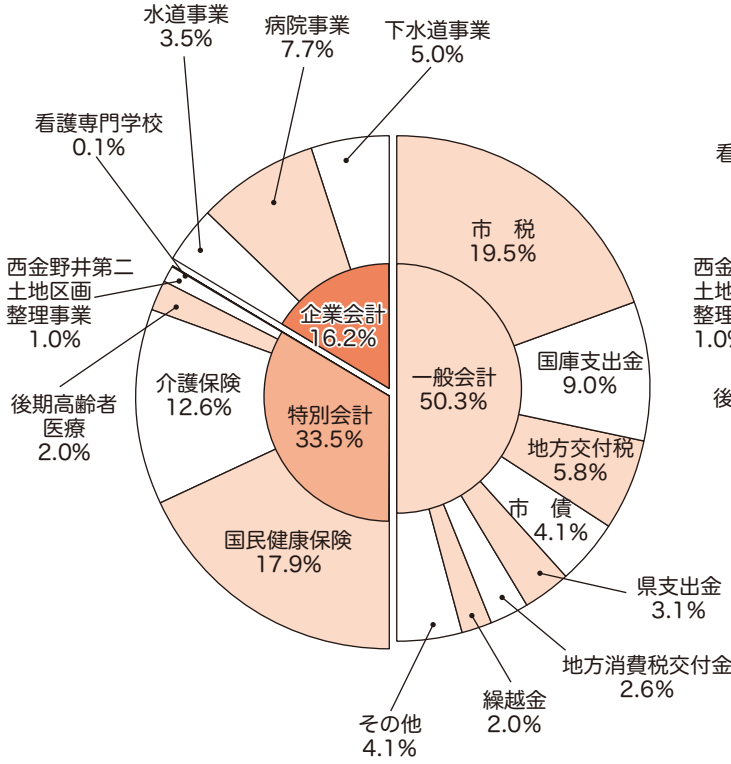
多くの市民がいつでもどこ  
へでも行けるよう地域住民の  
声を十分聞いて、春バスの改  
善、デマンドタクシーの導入  
を提案します。

鉄道連続立体交差事業につ

# 平成30年度 会計別決算

歳入総額 1,455億8,172万円

歳出総額 1,434億1,975万円



※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

いて、実現までにはまだまだかなりの時間がかかります。一日も早く解消するため、東西自由通路の早期実現が必要です。

地域経済の活性化の起爆剤となる住宅リフォーム助成の実施は、一つの重要な施策として、すぐにでも実施すべきです。請願が2回も採択され、議会で決議がされているにもかかわらず、いまだに実施していないのは問題です。請願決議の趣旨に沿った早急な実施を強く求めます。

特別教室へのエアコンの設置を早急に進めるとともに、緊急防災・減災事業債という有利な国庫補助制度を活用し、災害時の避難所となる体育館へのエアコンの設置が必要です。体育館のトイレ改修とともに校舎のトイレ改修も急いで進めることも重要な課題です。

子供の貧困化が問題となっています。就学援助は生活保護基準の1・5倍まで拡充し、父母負担軽減のために、給食費無償化を求めます。

社会教育の後退が市の魅力を失わせ、特に子育て世代の人口が減少した大きな要因となっています。体育施設は市

民の要望にしっかりと応えられる施設を早急に整備することが必要です。市民の知る権利を保障し、文化の拠点とも言うべき図書館を直営に戻すことを強く要求します。また、地域のつながりの拠点とも言える公民館は、無料に戻すことを求めます。

春日部市には豊かなさまざまな資源があります。災害は少なく、住むところとしては大変よい環境に恵まれています。人口減少に歯止めをかけるポイントは、このような市の利点を十分に生かし、子育て環境の整備と経済的な負担の軽減などに取り組み、文化・教育・スポーツなどの施設を充実させ、市の魅力を高める抜本的な施策を展開することです。地方自治体の本務は、住民の福祉の増進を図ることです。地方自治体の一番の存在意義は、そこに住む人々の生活を支え、豊かにすることにほかなりません。子育ても老後も安心の市政を実現するだけの財源は十分あります。この豊かな財源を活用して、活気ある市政を実現することは何よりも重要です。以上を申し述べ、反対します。

真に必要な事業を優先した適切な予算執行がされたものと評価し賛成（新政の会）

初めに、平成30年度は、第2次春日部市総合振興計画のスタートの年でした。本市が目指す将来像実現に向けて、山積する行政課題の解決に挑むとともに、将来の春日部を見据えた、各分野においてさまざまな取り組みが行われ、また、その中で、鉄道高架事業の都市計画決定や複合型子育て支援施設の整備など、事業の着実な推進が図られたものであり、高く評価します。

歳入では、その根幹となる市税において、企業収益の回復による法人住民税の増などがありましたが、評価替えに伴う既存家屋の減額による固定資産税の減などにより、市税全体では前年度と比べてわずかに減額となりました。

一方、市債については、交付税措置のある合併特例債の活用など、後年度の財政負担を考慮した有利な借入れを行っており、評価できるものです。

歳入全体では、依存財源の占める割合が依然として高く、楽観できない財政状況にある

ことを考えると、持続可能な財政基盤の確立のため、さらなる自主財源の確保に努めていただくよう要望します。

次に、歳出ですが、総務費では、本庁舎の移転建て替えに向けて基本設計などが行われました。市民が快適に利用できる環境整備に向けて、早期完成することを期待します。

民生費では、幼稚園から認定こども園へ移行する施設に対する施設整備費や小規模保育事業所の開設に要した費用の一部を助成したことにより、これまで以上に保育環境が整備され、保育所持機児童の解消に向けたより一層の取り組みが効果的に進んでいるものと評価します。

衛生費では、ごみ焼却施設の長寿命化が完了し、今後も安定したごみ処理事業が継続されるものと考えます。

商工費では、観光振興基本計画が策定され、今後、この計画をもとに、郷土への愛着や誇りを感じる観光づくりを進め、市内外の交流人口の増加を図るとともに、商業や工業、農業などあらゆる分野と連携し、地域経済の活性化につなげていただくことを期待します。

土木費では、インフラ整備において、道路・河川の維持補修など、日常的な対策を初め、総合的な浸水・冠水対策として100ミリ安心プランに基づく事業の推進が図られています。このことは、市民のさらなる安心安全に寄与するものと考えます。

また、春日部駅付近連続立体交差事業が都市計画決定されたことや、北春日部駅周辺の土地区画整理事業などが推進されたことは、本市が持続可能な都市経営を実現する上で大変重要なことであり、大いに評価するものです。

教育費では、学校再編に伴い、春日部南中学校および県内初の義務教育学校である江戸川小中学校の整備が地域の皆さまとともに進められました。平成31年4月の開校に至ったことは、大変喜ばしいことです。

また、児童生徒の情報教育推進に向けたタブレット型パソコンの全小中学校一斉導入、体育館トイレの改修などを行ったことは、学校環境の一層の充実のみならず、地域住民の安心にもつながるものと考えます。

では、将来の春日部を見据え、真に必要な事業を優先した適切な予算執行がなされたものと受け止めています。

平成30年度においては、景気が緩やかに回復したとはいえ、今後、連続立体交差事業や市役所本庁舎の建て替えなど、多くの重要事業を着実に推進していくためには、その財源をしっかりと確保していく必要があります。

基金については、現在のみならず、将来の行政需要にもしっかりと目を向けながら、また最近全国各地に大きな影響をもたらしている異常気象への対応など、不時の支出に對する備えとして一定規模を維持する必要があると考えます。

市民サービスの拡充は必要なことと考えますが、持続可能な財政運営の観点から、確かな財源の裏付けもなく、財源について単に財政調整基金などを取り崩して対応するといった安易な考え方は、到底認められません。

最後に、今後においては、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービス向上に努めていただくよう要望し、賛成します。

### 閉会中の委員会活動

#### ▽議会運営委員会

- 8月21日
- 令和元年9月定例会の日程等について

#### ▽質疑・討論について

- 10月4日
- 令和元年10月臨時会の日程等について

#### ▽広報広聴委員会

- 9月27日
- 議会だより第57号について

#### ▽議会議事録

- 10月4日
- 議会議事録第57号について

#### ▽図書室運営委員会

- 10月4日
- 令和元年度図書購入の申し込みについて

### 市議会ホームページのご案内

市議会ホームページがスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



## 議員提出議案

### 高齢者の安全運転支援と 移動手段の確保を 求める意見書

東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いています。

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立ちます。

警察庁は、昨年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計しています。

こうした状況を踏まえ、国は17年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保持者は、違反時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けましたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題であります。

また、過疎地域を中心に、

未だ「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みであります。

政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求めます。

#### 記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポカーS)や、後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」(サポカーS)に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。
- 3 免許を自主返納した高齢

者が、日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド(予約)型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。

また、地方自治体などが行う免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月20日  
春日部市議会

- 衆議院議長 様  
参議院議長 様  
内閣総理大臣 様  
総務大臣 様  
経済産業大臣 様  
国土交通大臣 様  
国家公安委員会委員長 様

【全会一致で原案可決】

### 政務活動費

#### 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究などの活動に資するために交付されています。政務活動費の収支報告一覧および領収書を市議会HPで公開しています。

なお、政務活動費の収支報告一覧等は、市役所別館1階市政情報室で閲覧できます。

## 9月定例会 審議結果

### 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	N H K か ら 民 国 を 守 る 党	無 所 属
議案第61号	専決処分の承認を求める(令和元年度一般会計補正予算(第3号)) (総務)	承認	○	○	○	○	○	○
議案第62号	会計年度任用職員の任用及び給与その他の勤務条件に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第63号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定 (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第64号	印鑑条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第65号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第66号	職員公務災害等見舞金支給条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第67号	職員の給与に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第68号	手数料条例の一部改正 (総務・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第69号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第70号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第71号	保育所条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 党	無 所 属
議案第 72 号	こども医療費の助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 73 号	消防団条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 74 号	水道事業給水条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 75 号	財産の取得 (春日部消防署豊野分署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 I-B 型) (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 76 号	財産の取得 (庄和消防署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材) (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 78 号	平成30年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 79 号	平成30年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 80 号	平成30年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 81 号	平成30年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 82 号	平成30年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 83 号	平成30年度都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	平成30年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	平成30年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 86 号	平成30年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成30年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第 88 号	令和元年度一般会計補正予算 (第 4 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第 89 号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第 90 号	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 91 号	令和元年度介護保険特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 92 号	令和元年度都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 93 号	令和元年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 94 号	令和元年度水道事業会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第 95 号	令和元年度病院事業会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第 96 号	令和元年度下水道事業会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 党	無 所 属
請願第 3 号	市立小・中学校の体育館にエアコン設置を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	○	×	○	×	×
請願第 4 号	「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願 (総 務)	不 採 択	×	×	×	○	○	×

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 党	無 所 属
議第 12 号議案	高齢者の安全運転支援と移手段の確保を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第 13 号議案	国民健康保険税引き下げへ国の対応を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×
議第 14 号議案	子ども医療費無料制度の創設を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	×
議第 15 号議案	学校体育館へのエアコン設置にかかわる緊急防災・減災事業債の対象期間延長を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○	×
議第 16 号議案	選択的夫婦別姓制度の早期導入を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	○	×	×
議第 17 号議案	ホルムズ海峡への自衛隊艦艇の派遣に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×
議第 18 号議案	核兵器禁止条約の批准を求める意見書 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○	×
議第 19 号議案	会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×